輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind

児童会役員選挙終わる！動き出した令和４年度新児童会。
－Change（変革）,Challenge（挑戦）,Continue（継続）－

今日は、二十四節気の「**立春（りっしゅん）**」です。寒さはまだまだ続きますが、暦の上では春となります。旧暦では立春が一年の始まりと考えられていました。新茶の摘み取りが行われる「八十八夜」も立春から数えて 88 日目となります。また、台風が来襲する可能性が高い「二百十日」も立春から数えて 210 日目となります。正に、立春は一年の起点と考えられていたようです。さて、昨日は節分。ご家庭では「豆まき」、恵方を向いて巻きずしを食べるという「恵方巻」等、節分は、子供達にとって、ちょっと特別な、そして、楽しみな日だったと思います。ご家庭では、いかがお過ごしだったでしょうか。このコロナ禍にあり、何となく重苦しい空気が流れている中、それらを少しでも払拭できれば大変嬉しいことだと思います。

その新型コロナウイルス感染症の感染拡大がなかなか収まりません。テレビや新聞でも、学校での感染が広がっていることが伝えられています。小野市の「**子供達の学びを止めない。**」という方針を堅持しつつ、感染対策の徹底を図る必要があると考えています。文科省の方からも、教育活動を続けながら、でき得る感染対策を講じ、集団での活動、大きな声を出す活動の制限等が言われています。「**学校に持ち込まない**」「**学校に広げない**」**を基本に据え、対応していきたいと考えます。**子供達の方にも**①マスクの着用②手指の消毒③３密回避④手洗い・うがいの励行④登下校時のマスクの着用（状況に応じて）⑤大きな会話の制限等**を継続して指導しているところです。子供達の生活の中では、なかなか難しいところがあることは十分承知をしております。しかし、これもこの時代を生きる子供達にとって、克服すべき試練なのかもしれません。悲観的ばかりに捉えるのではなく、どうすればよいか、何をすればよいか、どうすればやりたいことができるかを考える機会と捉えたいと考えます。頭を突き合わせて話せないなら、こうすれば･･･できるんじゃないか。集団の遊びでも、ただ、できない、無理だと諦めるのではなく、何か工夫を凝らすことで、新しい方法を見つけることで、今までとは、違った面が、方向が見えてくることがあると思います。「**考え方一つで、見方一つで、不可能が可能になる。**」そんなことを考え、期待もしています。子供達には不自由な面が多々あるかと思いますが、自らの独創性を発揮し、乗り越えて欲しいと願っています。

２月はあっという間に過ぎていきます。子供達には、この３学期は「**一年のまとめと新年度の準備の時期**」と位置付けています。**先週 28 日（金）は、５年生の児童会役員選挙が行われました。**今年はオンラインで行いました。子供達、一人一人の顔、表情が大変よく見えました。５年生全員、一人一人が自分の考える来年度の中番小学校像について真剣に話してくれました。保護者の皆様にも小学校での児童会選挙のご経験がおありだと思います。多くの学校では、立候補及び推薦による児童会役員選挙となる場合が多いのではないでしょうか。でも、この中番小学校は「**５年生全員立候補制**」です。この取組は本当に素晴らしいと思っています。全ての５年生が、「**中番小学校の未来について、自分で考え、自分の言葉で、自分が伝える。**」活動です。５年生の成長が著しく感じられる活動です。５年生全員、しっかりと自分の考えを話していました。その姿はとても頼もしく、大変立派でした。来年度、最高学年となる５年生。あなた達の言葉が、行動が、この中番小学校を動かしていくのです。その第一歩を歩み始めました。来年度に向け、児童会は動き出したのです。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が大変心配な状況です。感染についての正しい認識を深め、「**恐れず、正しく、適切に**」対応していくこと、行動することが益々必要であり重要なことだと考えます。保護者の皆様のご理解とご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

学校通信　No.７４　令和４年２月４日　小野市立中番小学校長　田中康善